	No.	42	_	4 事	务事業 名	3 農村班	環境改善t	マンター管	曾理運営事	業細事	務事	業名	農村環境	改善七	2ンター管理	里運営事業	公的関与	2 2	ート作	成Ε	<u> </u>	ヹ成30年	₹6月1	15日
	課名			農政課				<mark>グループ</mark> 基盤整			備	描 <mark> 担当課長名</mark>			小笠	原己喜雄	シー	シート作成者名			伊藤一幸			
	事業区分		厶	○ 1 ソフト事業			0	○ 3 整備事業 ●			5 施設の管理運営				車条温	営方法	☑ 1 [i]	営			3 全部	邻委部	ŧ	
	尹 2	未匚	Л	〇 2 旅	施設の建	設	0	4 経常	的事務事	事業						争未进	占力压		一部委託	託		4 補月	功等	
				政策	こやとみ			美	[施計	-画			事業	美の開始	台∙終	を了								
	総合計		画	施策項目 農水産業の振興						0 1							年度	€ ~ ቸ	成	年	F度 🗹	期間語	殳定な	ټل
				主要施策									● 2 非該当			#8 #bn \$	去令等							
٥	個別計i		画													化力处力	ムカサ							
		業の 目的		対象(誰を・何を)							意図(どういう状態にしたいのか)													
				農村環境改善センターを利用する住民 センターを快適に								川用してもらうよう適正な維持管理を図ります。												
PLAZ	事業の 内容			・施設利用許可申請に対し、利用内容の確認を行い許可書等を交付します。 ・施設の保守点検業務を委託します。																				
				指標名	利用者	数									指標名									
	成里		(指標設 定の考 え方	センター	-の利用	者の増る	上図りま ⁻	す。			単位	人		指標設 定の考 え方							<u>i</u>	単立	
	指		1	平成	28 年月	美	<mark>²成</mark> 29	年度	平成	(年度	目標	平成	30 年度	2	平成	28 年度	平成	29 年度	平	成	※ 年度	目標平	成 3	0 年度
	楞			日日	4,928 11,000	実績目標	4,396 11,00		<u>₹</u>	×	目標	1	1,000		実績目標		実績目標		目標	;	*	目標		
	7/	₩ #				惊	60	A = I			+4-	_	# 44 -1. 7	ال علاد با						_	_ 1 ## 4#4		- = n. #Þ	
	才!	算費	H	会 計				会計	左曲法	左	款	6	農林水產			項 1	農業費			目		振興施		
		国・児		日十山ム			平成	28	年度決		_			平成	29	年度決算			平	八	30	年度		
	直				-				千円							千円							<u>-円</u>	
	接	Z		かけませ	活	千円 235 千円							千円 千円 233 千円 228 千円											
DO	争	て		也特定財 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	沙																			
	事業費			般財源					4,458 <mark>千円 4,693 千円 </mark>						4,116							16 14 千		
				†(A)							1					4,349 0.137								
			正職	員工数·	経費		0.137 人															0.137 <mark>人</mark> 945 千		
	(B	3)	施時	職員工数	. 経費	0.690 人			945 千円 1,104 千円				0.690 人				945 千円 1,104 千円 0							
	全			_{職員工数} 費(A+E		0.0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			1 1 1 2 千P			0.030	人		6,398		0.	,000 /	\			14 13 千	

	チェック項目						一次評価				一次評価の説明				二次評価				
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。	也の実施	0	はい	(● ('	いえ		する許可 表興と農村			0	はい	•	いいえ		
	必要性	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。	0	はい	(• l'	いえ	図るため	必要です	0		0	はい	•	いいえ			
			住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余		0	はい	(● l'	いえ				0	はい	•	いいえ			
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較 ニーズを上回るサービスとなっている。	咬して	0	はい	(● ('	いえ					0	はい	•	いいえ		
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とは	いえない。	0	はい	(• l'	いえ		域の拠点と ン等の活動			0	はい	•	いいえ		
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはし	0	はい	(● ('	いえ	用されて		-93 - P - 93	0	はい	•	いいえ				
CH	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在で	する。	0	はい	(● ('	いえ						はい	•	いいえ		
E		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。		0	はい	(● ('	いえ					0	はい	•	いいえ		
CK		1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目標	に比べて劣っている 農村地域のコミュニケー 場として利用が図られま							0	劣っている					
	達	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。		0	あまり)上がっ	ていなし	۸,	- MCU C	선생 (사다.	9 0	0	あまり上がっていない					
	成度	3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	•	概ね	達成し	ている				•	概ね達成している							
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0	十分	·達成し	ている						0	十分達成している					
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。		0	はい	(• l'	いえ	適正な維持管理が求められます。				0	はい	•	いいえ		
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	0	はい	(• l'	いえ	1					はい	•	いいえ			
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地があ	ある。	0	はい	(• l'	いえ				0	はい	•	いいえ			
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地があ	0	はい	(• l'	いえ				0	はい	•	いいえ				
		•	一次評価		<u> </u>			二次評価											
	評値	T 点	必要性 有効性 達成度 効率性	総合評	価			要性	1	有効性	達成	度	効率	生	総	合評	価		
				A 日間委託	T 55			<u>4</u> ÷ → ·	た中		<mark>3</mark>		<u>4</u> +>+¬+=	¥		<u>A</u>	T 55		
	方向	後の 気性	○ 拡大·充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ ○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/休止	民間委託	寸	_		広大・ 宿小		○ 現 ⁴ 統合/約	大維持		方法改善 廃止/休		○ 民間]委言	[寸		
	Лŀ	-) IT	○ 棚小 ○ 机百/ 松粉設定 ○ 廃止/ 休止				<u> </u>	旧小,							音目)				
ACTION		画の	限られた維持管理費内で、いかに適正な維持管理の充実を図		二次評価での指摘事項(部長の総括意見) 指定管理者制度を視野に入れ維持管理方法等を検討する必要があります。														
N	課題のた改善	めの	維持管理の内容及び方法の検討を行います。			1日 (上) 目	任 伯	削皮で	Tガ±パ〜人	4 6孙仕1寸 目	生力 ii	4 守で快高	ל א ני -	かか <i>な</i> りで	ラ クボ	, 0			
	備	考																	